

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「運輸分野における個人の財・サービスの仲介ビジネスに係る欧米諸国の動向等に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：太田 和博氏 専修大学 商学部 教授 中村 文彦氏 横浜国立大学 教授 根来 龍之氏 早稲田大学大学院 経営管理研究科 教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>仲介ビジネスには多様な形態があるので、概念整理は必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運輸分野の仲介ビジネス（ライドシェア、自家用車カーシェア、貨物運搬シェア）事業者の提供するサービス内容等の事例調査を行い、提供方法やサービスの仕組み等を明示した。各分野において、既存の論文や法令等も踏まえて、仲介事業者に共通する内容を整理し、本調査研究における各運輸分野の仲介ビジネスに関する説明や分類を明示した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいサービスの普及の背景として、既存のサービスの需要がどの程度あったかといったニーズの把握をしてほしい。</li> <li>新しいサービスは、供給力が重要であり、供給があってこそ普及すると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運輸分野の仲介ビジネスについて、既存業界の市場規模や動向、公共交通の供給状況や利用状況について文献等で情報を整理した。その後、仲介事業者や既存業界団体等へのヒアリング調査で新サービス・既存サービスの需要面、供給面に関して質問を実施した。</li> <li>ヒアリング結果をもとに、再度文献調査を行い、運輸分野の仲介ビジネスの需要や供給についてまとめ、また新しいサービスの供給力について考えられ得る要因を整理した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいサービスには、既存のビジネスの代替品という側面と、新しい付加価値の提供という側面がある点を踏まえて考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運輸分野の仲介ビジネスについて、サービス利用回数の増減等既存業界との競争事例を情報収集するとともに、分野によっては、仲介ビジネスが利用者へ新しい付加価値を提供している可能性の提示や、既存業界との提携等の事例を明示した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>仲介ビジネスが展開されている国・地域では、サービス提供の条件を調べるのが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲介ビジネスに係る法令を調査し、規制の条件を整理した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>制度に関しては、欧米では国や県、州・市等で役割が全く異なるため、それぞれに対してヒアリングする内容を分けて考えなくてはいけない。ヒアリング調査では、調査項目が多いので優先順位を設定すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主にライドシェアに関して、事前の文献調査等で各国の監督機関とその役割や所掌する内容について情報収集し、ヒアリング対象を選定した。また、文献等では把握出来なかった規制の詳細や、制度制定までの議論、背景、考え方等を中心にヒアリング項目を設定した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>規制が強化されるきっかけのような事故・事件等の問題事例があれば記載し、欧米諸国での法整備の動向を述べてほしい。</li> <li>実際の問題事例を収集すれば、どのような事に留意するべきかが導かれるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文献等やヒアリング調査等で各国での事故・事件等の問題事例について情報収集し、規制強化の動き等法整備の動向を整理した。また、ヒアリングでの言及の多寡等を踏まえて、仲介ビジネスに関する留意点を報告書の総括において整理した。</li> </ul>